

答 ①今後国保税見直しの際に検討していきたい。②介護保険推進市民協議会で議論していきたい。③現状を見極め、部・課長会を通じ、市長会で調整し関係機関に要望するよう努力する。

後期高齢者医療制度は、高齢者を差別するもの、抜本的改善を

問 東京の保険料は市長会等の運動で一定軽減されたが①7年後は幾らになるか②生活困窮者に保険料の減免制度を③医療体系が別建てとなるか④健康診断の無料化を求めるがいかかか。

答 ①国の試算では保険料は1・4倍になる。②国保と同様の制度を設けるよう要望していきたい。③慢性疾患の継続的な管理を行うため、高齢者担当医を新設する。④自己負担金は徴収しない。

西村 あつ子

私道への固定資産税の対応について

問 ①私道でも公共の道路として使用される場合、固定資産税の非課税が定められているが、手続きの現状は。②かわった部署が違っても申請書を渡すなどの対応を。

答 ①地権者の申請により現地確認の上非課税の措置を講じている。②課税担当部署と連携し、マニュアルの作成を行い、運用を明確にしたい。

子育て環境の整備について

問 ①妊産婦健診の未受診者の把握と個別対応を。②妊産婦健診の公費拡大のため、国や東京都へ要望を。③北部地域への病児保育増設の検討状況は。④紙おむつ用のごみ袋の枚数増と年齢制限の撤廃を。

答 ①未受診者の把握は難しい状況である。また、個別対応は内部で検討中。②市長会を通じて都へ要望していく。③健康福祉部内で使える公共施設を考えている。④規則改正も含め、支援策を検討したい。

食の安全と食育について

問 ①保育施設、学校での給食の冷凍加工食品の使用状況。②原材料高騰による給食費の値上げは。③公立の給食は国産品が基本で手づくり。認証保育園等も基準を。④離乳食の相談等家庭訪問を。

答 ①保育園はあんまん、学校給食は国内加工した冷凍パイシート、ナン、ホブサのみ②厳しい状況も危惧される③狛江市立保育園給食物資規格表をもとに食材使用④「こんにちが赤ちゃん」で家庭訪問を行う。

藤田 鋭

指定管理者制度について

指定管理者選定委員会を立ち上げるが、エコルマホールについては一層のサービス向上をお願いしたい。課題と考えていることは何か。

問 20年度にエコルマホールと体育施設を対象に、指定管理者選定委員会を立ち上げるが、エコルマホールについては一層のサービス向上をお願いしたい。課題と考えていることは何か。

答 市民サービスの向上、経費削減、効率的な運営、企画事業の内容など基本的事項のほか、芸術文化の創造や鑑賞機会の提供、市民の芸術文化活動への支援という役割があり選定はそれらを評価する。

住民参加型公募債とは

問 全国で今住民参加型市場公募債を発行する自治体が広がっているが、狛江市の場合どのような意義や趣旨がある取り組みととらえているのか。またどのような規模の金額が妥当と考えるか。

答 市民の行政への参加意識の高揚と新たな資金調達としての手法。財政状況を踏まえた上での額を設定する。

石川 和広

市長の計画行政について—道路行政—

問 庁内決定にはなっていないが、平成17年度に決めたとされる平成22年度までの細街路拡幅整備予定候補箇所がピックアップをされているか。また、整備計画化はできないのか。

答 現存しているが、年間3本程度の実施が現状であり、当初予定と内容が変わってきている。今後1路線でも多く整備できるように内部調整をしていく。

委託について—業務委託、コスト削減を目指して—

問 庁舎などの公共施設の管理業務委託や清掃業務委託など市民サービスに直結するようなもの、リース契約案件と同じく複数契約の考え方はできないか。長期継続契約条例等に盛り込んでいく市もあるが、複数年契約による事業者の技術力、提案を生かした業務の効率化と質の向上が図れる反面、入札による競争原理が働かなくなる面もあり、単年度契約としている。

答 複数年契約による事業者の技術力、提案を生かした業務の効率化と質の向上が図れる反面、入札による競争原理が働かなくなる面もあり、単年度契約としている。

亀井 和美

子育て支援「発達障がい」の早期発見のための5歳児健診実施を

問 近年増加している発達障がい。対応がとおれると、それだけ症状が進み状況を悪化させてしまう。そのため就学前健診でなく、発達障がいの早期発見・早期療養のために必要な5歳児健診の実施を。

答 5歳児の実施は、検討期間を含めて考えていく。健診の位置づけや財政上の問題、また関係機関と十分調整を図った上で教育部内でも議論する。

高齢者対策 肺炎球菌ワクチンの予防接種に公費の助成を

問 高齢者は風邪を引くと肺炎を起こしやすい。肺炎球菌ワクチンが予防接種により、菌を殺すことができる。免疫は5年以上続く。肺炎の重症化を防ぐために、予防接種に公費の助成を。

答 肺炎球菌の予防接種への公費助成は、特定健診の導入などもあり、健康診断の充実をどう図るか、財政状況を見ながら検討の対象に加えていく。

環境問題 ペットボトルのキャップのリサイクルについて

問 地球環境を守り、限りある資源を大切に使うためには、リフューズが大事である。リサイクルは最後の手段。ペットボトルのキャップのリサイクル方法について。

答 平成18年度からキャップもリサイクル業者に引き渡し資源化。行政で行うには安定的な回収ルートの確保が必要。見極めがつかずまでは、ボランティア団体で行っていただきたい。

佐々木 貴史

安心・安全なまちづくりについて

問 ①元警視庁・田宮栄一氏の講演内容を小中学校の保護者宛に配付を②高齢者の安

全対策として全戸防火診断を③児童の自転車乗りの方などに「思いやり運転」の指導を④「学校裏サイト」等の防止対策を。

答 ①慎重に取り扱い、活用する②消防署の防災診断の状況を見ていきたい③思いやりの心を育むことは普遍的な教育目標。道徳等の工夫を図る④今後もしばの未然防止、情報モラル指導等の徹底を図る。

市長の政治姿勢について

問 ①市長は前市政の借金が原因とされてきているが、前市政12年間と市長の12年間の借金総額の比較は②人材の確保と人材育成についての市の考え方は。

答 ①昭和60年度から平成8年度までが約216億7000万円、その後平成20年度までが約200億9000万円②能力、業績による処遇、査定昇給などの人事給与制度改正を踏まえ取り組む。

道下 勇

狛江市財政再建のためのポストアクションプランの取り組み

問 ①経常収支比率100・2%から80%を目指す時期について②予算200億円規模にしては③平成22年4月1日で467人でも多いがその後の定年退職者数は④事務事業評価の取り組みについて。

答 ①地方財政の動向を勘案し、必要な目標を示す。

②210億円台と考えている。③21年度から5年間で98人となる。④行政評価委員会の提言に基づき、新たな制度を実施する。

問 ①約50人の待機児解消策について新保育園の建設は②公立保育園と認証保育園の保護者負担の解消のための補助について③20年度も耐震診断が予算化されていないがなぜか。

答 ①公設公営、公設民営も視野に入れながら内部で検討していく必要がある。②どのような方法で保護者の支援ができるか内部で検討したい。③21年度以降に耐震化計画の中に組み入れられるように努力する。

狛江市のがん対策について

問 ①がん予防の取り組みは②がん検診の受診率50%を目指すとするが取り組みは③精度管理の具体的取り組みは④狛江市のがん予防対策推進計画の策定について。

答 ①がん種別により集団検診、個別健診等を実施②利用状況を見て、利用枠の拡大に努力する③3月報告を受け内部で検討する④健康審査に留意し、財政状況を見ながら重点事業として取り組んでいきたい。